



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月8日

上場会社名 Oakキャピタル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3113 URL https://www.oakcapital.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 竹井 博康
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 秋田 勉 TEL 03-5412-7474
 四半期報告書提出予定日 2018年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,121	△55.9	△404	—	△361	—	△362	—
2018年3月期第2四半期	4,808	4.9	1,893	265.3	1,824	418.5	1,535	213.1

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 76百万円 (△96.4%) 2018年3月期第2四半期 2,148百万円 (532.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	△6.77	—
2018年3月期第2四半期	28.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	9,243	8,860	95.9
2018年3月期	9,860	9,320	94.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 8,860百万円 2018年3月期 9,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な予想が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	53,675,037株	2018年3月期	53,675,037株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	37,491株	2018年3月期	36,537株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	53,638,101株	2018年3月期2Q	53,640,375株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
特記すべき事項はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の個別業績は、営業収入（売上高）21億21百万円（前年同期比55.9%減）、営業損失4億3百万円（前年同期は営業利益18億93百万円）、経常損失2億66百万円（前年同期は経常利益19億13百万円）、四半期純損失2億67百万円（前年同期は四半期純利益16億23百万円）となり、連結業績は、営業収入（売上高）21億21百万円（前年同期比55.9%減）、営業損失4億4百万円（前年同期は営業利益18億93百万円）、経常損失3億61百万円（前年同期は経常利益18億24百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億62百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益15億35百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間と前年同期の業績を比較して大きく変動した要因は、エクイティファイナンス投資の回収によるキャピタルゲイン収益が前年同期間（2017年4月1日から2017年9月30日まで）に集中した結果であります。当社の投資期間は平均1年から2年であり、投資案件ごとに回収の時期や期間等も異なることから、事業計画は通期で立てております。

(投資銀行業務の状況)

・インベストメント分野

インベストメント分野は、東証マザーズやジャスダックなどの新興市場に上場する企業並びに中小型株の上場企業を対象に企業価値向上に向けた成長支援投資です。エクイティファイナンスの引受けによる財務体質の強化や事業拡大を目的としたM&A、事業再生、イノベーション等の支援を通して、投資先企業の企業価値向上に取り組んでおります。当社が行う投資銀行業務は、投資先企業の企業価値向上に資するだけでなく、日本経済活性化の一端を担う重要な役割であると考えております。

・アセットマネジメント分野

アセットマネジメント分野は、当社の成長戦略の一環として投資領域の多角化と収益構造の安定力を高め、当社の「企業価値」及び「株主価値」の向上を図ることを目的とした投資です。

既に投資運用商品として不動産並びに動産への投資を開始しており、これまでにない魅力的な商品の開発と投資家領域の拡大を図っております。

*前期買収した株式会社ノースエナジーは、投資家や法人向けに太陽光発電システムを販売、運用しており、当期は106基を新設いたしました。現在、太陽光発電システムを全国に346基を保有し、運用を展開しております。

*米国ハワイ州のゴルフリゾートは、ゴルフ場及び分譲別荘地の魅力を高めることを目的にコースの改修及びサービスの改善に取り組んでおります。今後は投資運用不動産として事業展開いたします。

・ブランド投資分野

ブランド投資分野は、伝統への敬意と継承を基本とし国内外のブランド企業を対象とした事業投資です。

フランスの銀製カトラリーの名門クリストフルジャパン株式会社では、国内で新設が続く高級ホテルやフランスレストランなどで需要が伸びており、この傾向は2020年の東京オリンピックまで続くものと予想しております。

当社は1868年（明治元年）に創業し、本年150周年を迎えました。

本年度も株主の皆様への還元を重視する方針です。

(重要経営指標)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高 (千円)	4,808,554	2,121,524	5,654,512
営業損益 (△は損失) (千円)	1,893,720	△404,319	1,549,771
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純損益 (△は損失) (千円)	1,535,191	△362,902	886,059
総資産 (千円)	10,469,509	9,243,407	9,860,397
純資産 (千円)	9,945,581	8,860,659	9,320,278
投資収益率 (%)	111.08	4.08	98.28
自己資本比率 (%)	95.00	95.86	94.52
ROE (%)	17.05	—	10.19
ROA (%)	16.30	—	9.72
1株当たり四半期 (当期) 純損益 (△は損失) (円)	28.62	△6.77	16.52
1株当たり配当額 (円)	—	—	10.00
従業員1人当たり営業損益 (△は損失) (千円)	86,078	△15,550	70,444
従業員数 (人)	22	26	22

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産につきましては、前期末と比べ、6億16百万円減少し92億43百万円となりました。減少した主な要因は利益剰余金の配当等により現金及び預金が減少したためであります。負債につきましては、前期末と比べ、1億57百万円減少し3億82百万円となりました。減少した主な要因は、未払法人税等の減少によるものであります。純資産につきましては、前期末と比べ、4億59百万円減少し88億60百万円となりました。減少した主な要因は、利益剰余金の配当及び親会社株主に帰属する四半期純損失計上による減少がその他有価証券評価差額金の増加を上回ったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めてまいります。

通期業績におきましては増収増益を目指し、配当性向の向上など、株主還元の充実に取り組み、株主価値向上に努めてまいります。また、変動する世界経済に於いて、企業の成長やイノベーションの支援に必要な役割を持った投資銀行として使命を果たしてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,723,377	3,037,687
売掛金	156,219	133,632
営業投資有価証券	3,126,675	3,090,580
短期貸付金	189,000	189,000
その他	170,429	215,020
貸倒引当金	△80,516	△80,516
流動資産合計	7,285,186	6,585,406
固定資産		
有形固定資産	313,686	306,447
無形固定資産	2,879	2,548
投資その他の資産		
投資有価証券	986,031	906,849
長期貸付金	443,307	443,307
関係会社長期貸付金	546,100	721,171
投資不動産	313,545	313,545
その他	57,199	74,131
貸倒引当金	△88,000	△110,000
投資その他の資産合計	2,258,184	2,349,005
固定資産合計	2,574,750	2,658,001
繰延資産	460	—
資産合計	9,860,397	9,243,407
負債の部		
流動負債		
未払金	21,184	21,298
未払法人税等	251,360	24,060
その他	153,111	40,114
流動負債合計	425,656	85,472
固定負債		
退職給付に係る負債	99,336	109,170
その他	15,125	188,104
固定負債合計	114,462	297,275
負債合計	540,118	382,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,282,010	4,282,010
資本剰余金	3,206,462	3,206,462
利益剰余金	1,883,280	983,992
自己株式	△13,201	△13,400
株主資本合計	9,358,551	8,459,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35,764	399,208
為替換算調整勘定	△2,508	2,386
その他の包括利益累計額合計	△38,273	401,594
純資産合計	9,320,278	8,860,659
負債純資産合計	9,860,397	9,243,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	4,808,554	2,121,524
売上原価	2,283,760	2,038,144
売上総利益	2,524,794	83,380
販売費及び一般管理費	631,074	487,699
営業利益又は営業損失(△)	1,893,720	△404,319
営業外収益		
受取利息	7,333	18,704
為替差益	8,205	135,747
その他	943	4,384
営業外収益合計	16,482	158,836
営業外費用		
支払利息	24	18
持分法による投資損失	81,085	93,749
株式交付費償却	1,261	460
社債発行費等償却	2,963	—
貸倒引当金繰入額	—	22,000
その他	—	11
営業外費用合計	85,335	116,239
経常利益又は経常損失(△)	1,824,867	△361,722
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,824,867	△361,722
法人税、住民税及び事業税	289,676	1,230
法人税等調整額	△0	△50
法人税等合計	289,676	1,179
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,535,191	△362,902
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,535,191	△362,902

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,535,191	△362,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	611,092	434,972
為替換算調整勘定	46,555	26,301
持分法適用会社に対する持分相当額	△44,003	△21,405
その他の包括利益合計	613,643	439,867
四半期包括利益	2,148,835	76,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,148,835	76,965

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,824,867	△361,722
減価償却費	7,456	9,070
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	22,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,749	9,833
受取利息及び受取配当金	△7,573	△18,944
支払利息	24	18
為替差損益(△は益)	△8,326	△134,879
持分法による投資損益(△は益)	81,085	93,749
有形固定資産除却損	0	—
株式交付費償却	1,261	460
社債発行費等償却	2,963	—
売上債権の増減額(△は増加)	△28,226	22,586
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	7,698	658,532
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,014	672
その他の資産の増減額(△は増加)	7,819	4,452
その他の負債の増減額(△は減少)	△34,481	△42,475
その他	65	△3,522
小計	1,864,370	259,830
利息及び配当金の受取額	1,562	1,842
利息の支払額	△24	△18
法人税等の支払額	△1,533	△204,404
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,864,374	57,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△198,779	△1,500
無形固定資産の取得による支出	△300	—
子会社設立による支出	—	△50,000
貸付けによる支出	△239,082	△181,870
差入保証金の差入による支出	△50	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438,211	△233,370
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△329	△199
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△461	△467
配当金の支払額	△265,007	△531,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265,798	△532,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,644	22,978
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,162,008	△685,689
現金及び現金同等物の期首残高	4,745,444	3,723,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,907,453	3,037,687

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は投資銀行の単一セグメントであるため、記載を省略しております。